

クラシックカーを
愛する人へ

平成10年6月4日第3種郵便認可
2011年7月1日発行(隔月奇数月1日発行・隔月奇数月1日発売)第24巻3号

Nostalgic Hero

Impressive Classic Car Magazine

ノスタルジックヒーロー

2011 June

6

特別付録 DVD
名車烈伝Vol.5

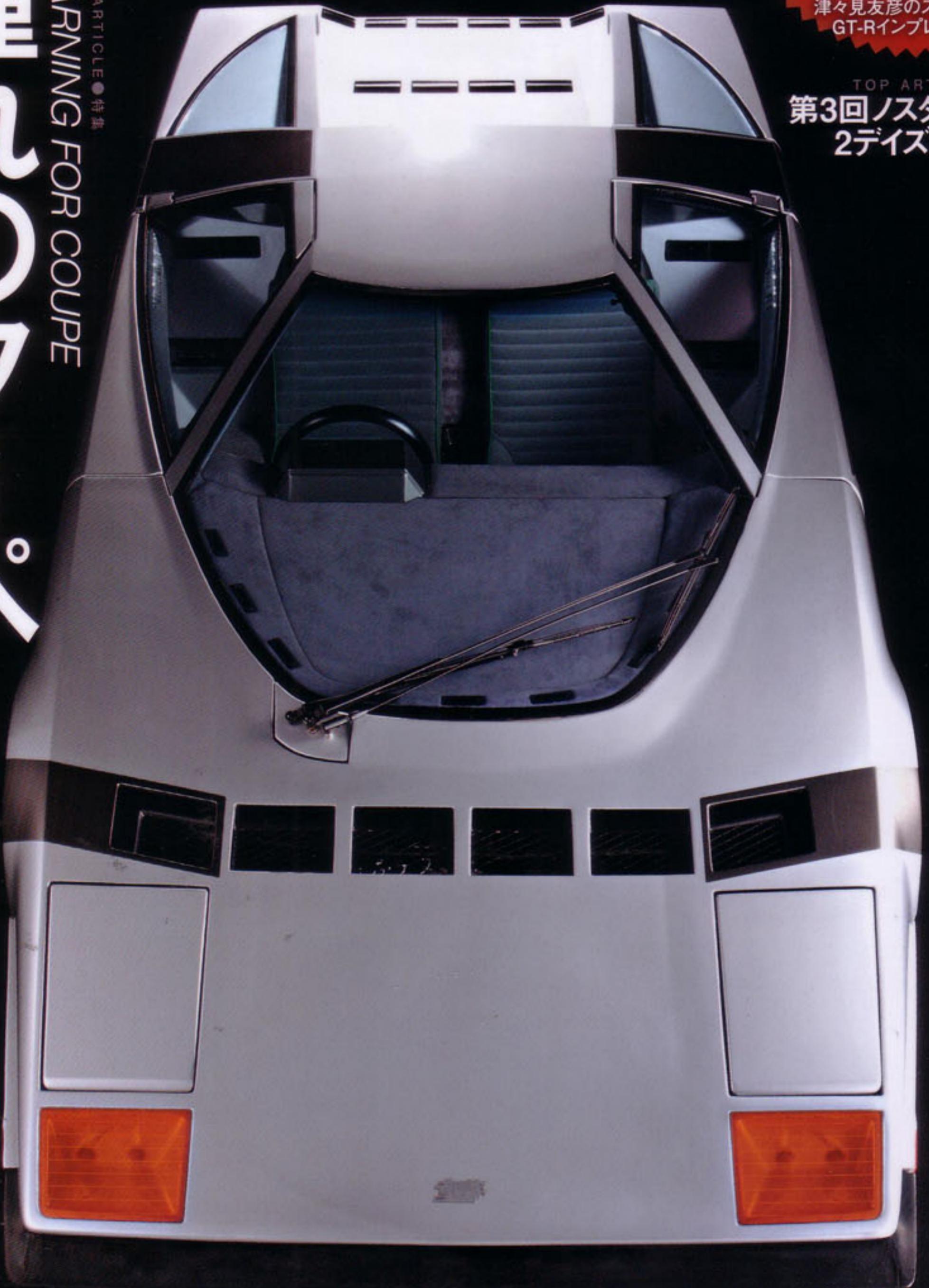
第3回ノスタルジック2デイズ2011
サニー・エクセレントTSレーシング
ラリーモンテカルロ
ヒストリック参戦プロジェクト
津々見友彦のスター・ロード
GT-Rインプレッション

TOP ARTICLE
第3回ノスタルジック
2デイズ2011

Vol.145

憧れのクーペ

MAIN ARTICLE ● 特集
YEARNING FOR COUPE



EVENT
ジャパンリリーフ・日本救援の集会

HOT CLASSIX
S30フェアレディZ

日本レース史の断章 解良喜久雄 [中編]
最強ハコスカGT-Rプロジェクト Vol.2
連載

サブロクと愉快な仲間たち

特別寄稿: 櫻井眞一郎氏を偲んで

SUPERCHARGED "L" Z



フィーリングは、後付けターボ車にありがちなドッカン系とは違って、自然にトルクが盛り上がってくるので乗りづらさは感じない。

LS1 SWAPPED "V8" Z



スーパーチャージャー仕様に比べてもよりトルクフルな走りを披露するV8仕様。5.7ℓの大排気量が走りを変える。

HOT CLASSIX

VOL.6
NISSAN FAIRLADY Z
●日産フェアレディZ

THE ULTIMATE CHOICE

撮影=平野 陽
photographed by HIRANO AKIO
協力=ロッキー・オート
cooperated by Rocky Auto
TEL0564-58-7080
<http://www.rockyauto.co.jp>

—L型+S/C or アメリカンV8—
選ぶべきはどちらだ!?

伝統的なメカチューンに加え、最新エンジンへのスワップなど、
ここ最近、旧車のエンジンチューニングには、さまざまな可能性が見いだされている。
そんななか、伝統のL型エンジンに前代未聞のスーパーチャージャーをドッキングさせたZが完成。
アメリカンV8エンジンをスワップしたZとともに、その魅力を探る——。



LS1 SWAPPED "V8" Z

⑨純正のように収まるシボレーの"LS1"5.7l V型8気筒エンジン。コルベットに搭載されていたオールアルミ製のエンジンで、ノーマルのスペックは、最高出力350ps、最大トルク48.4kg-mとなっている。軽量なS30Zには十分過ぎるほどのパワー&トルクだ。⑩オーバーフェンダーにより拡幅されたボディは存在感たっぷり。⑪リアバンパース&スムージング加工を施したリアビューは独特の存在感をかもし出す。

なエンジン制御を目指した。パワー&トルクの出方も、ノーマルのL28型エンジンを一回り、いや三回りほど力強くした印象で、ある回転域から急激に過給器が効いてくるようなドッカン系ではない。スーパーchargerの特性を生かし、低回転からスマーズかつパワフルにトルクが盛り上がりてくるのだ。だから安心してスロットルペダルを踏み込むことができる。

一方のLS1型5.7l V8エンジンを搭載する真っ赤なZも、乗り味は至って普通。エアコンやパワーシートも装備されているため、快適とさえ言える。ただ、そこには「アクセル開度を抑えめにしている範囲では」というだけの書きが付く。ラフで扱いにくいとおれば意図的にテールスライドを発させることも可能だし、有り余るパワーを解放してドンと背中から押し出されるような加速を味わうこともできる。振り回せる腕のあるドライバーなら、楽しくて仕方ないはずだ。

絶対的なパワー&トルクでは、やはり圧倒的な排気量を誇るLS1搭載の「V8」Zが勝るが、L型エンジンの特性をそのまま太く、強くしたようなフューニングの「スーパーcharger」は、魅力を備えたチューニングZ。共通するのは、「その性能を『誰もが安心して楽しめる』ということ。これからの旧車チューニングを考える上で重要なメッセージが、この2台に託されている。



THE ULTIMATE CHOICE

⑫前後とも大幅に拡幅されたフェンダーは、リベット留めでなくバテ成形+ボディ同色として、ブリスター風に処理する独特的な形だ。⑬左右に振り分けられたマフラーはV型エンジン搭載であることを視覚的にイメージさせる。バンパースムージング加工に加えてスポイラー類を付加していないシンプルなリアビューが新鮮だ。⑭純正のように収まつたV8ユニット。なるべく低い位置にマウントさせるため、エンジンマウントやアーム類を加工。⑮エンジンのパワー&トルクは17インチ化。前後ブレーキの強化(リアはディスク化も実施)でストッピングパワーもチューニング済みだ。

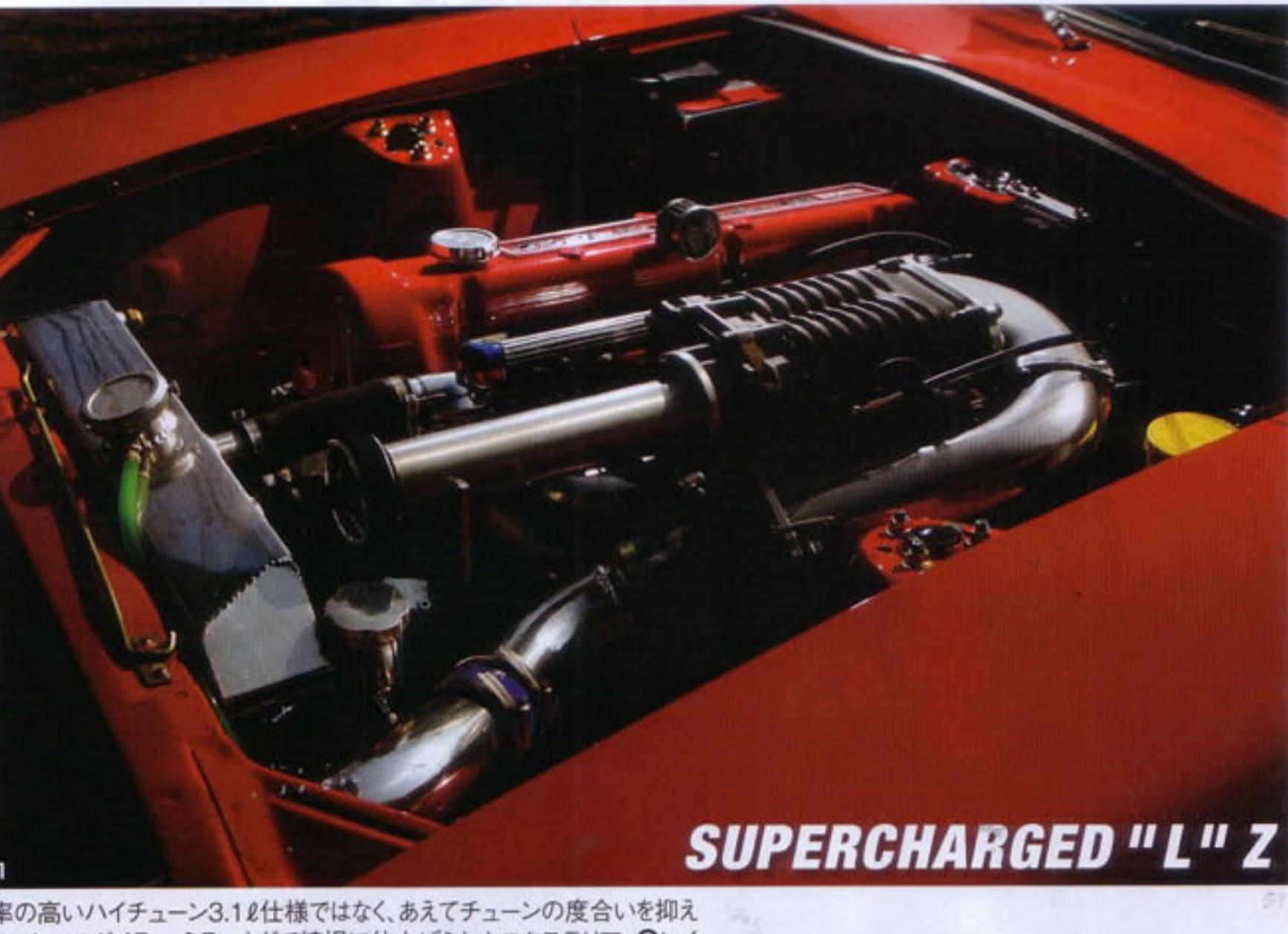


■日産フェアレディZ V8 72年式

- エンジン:コルベットLS1 5.7l
- 吸気系:K&Nエアクリーナー
- 排気系:ワンオフマフラー
- シャシー:フレーム補強
- ボディ:オーバーフェンダー、フロントスポイラー、リアバンパース、スムージング
- インテリア:オートメーター速度計、回転計、水温計、燃料系、油圧計
- ブレーキ:F:強化ブレーキ R:ディスク化
- ホイール:COBRA R 17インチ
- タイヤ:TOYO PROXES T1R F:205/50R16 R:205/55ZR16



①ベースのL型エンジンは、スーパーchargerで過給する分、圧縮率の高いハイチューン3.1l仕様ではなく、あえてチューンの度合いを抑えたL28型3.0l仕様とした。②ロッキーオート製のカーボンボンネット、バンパー、spoiler、ミラーなどで精悍に仕上げられたエクステリア。③レイズの鍛造ホイールTE37Vに強化ブレーキを備え、メニカルリバートは現代のスポーツカーに負けないレベルへ引き上げられている。



SUPERCHARGED "L" Z



④超軽量なカーボンボンネットは中央に設けられたバルジが特徴となっている。カーボンバンパー&spoilerにビレットグリルを装着。アメリカの香りがほどよくスパイクとなっている。⑤リアスポイラーはリアフェンダーまで回り込む独特の形状。FRP製のほかカーボン製もラインナップする予定。リアのアンダースポイラーから突き出る2本のマフラーは、現代的なスタイリングを取り込んだ。⑥ホイールはレイズが誇る鍛造1ピースのTE37V。フロントブレーキはブレンボ。ちなみにリアはディスク化し、ウィルウッドを投入している。

HOT CLASSIX

伝統的なメカチューニングが、計り知れない魅力と奥深さを備えているのは、旧車乗りなら誰もが否定しないところだろう。しかしその一方で、エンジンスワップや過給器などに代表される、新たなチューニング手法も、その魅力を大いに拡大しつつある。

R型エンジンをスワップしたコンプリートカーの製作で知られるロッキーオートが、新たに提案してきた2台のZも、そんな新世代のチューニング手法を取り入れて製作されたものだ。①ホイールはレイズが誇る鍛造1ピースのTE37V。フロントブレーキはブレンボ。ちなみにリアはディスク化し、ウィルウッドを投入している。

カーボン×赤ボディをまとったジョンエンジンにスーパーchargerを搭載。一方、オーバーフェンダーが特徴的な真っ赤なZは、コルベットの5.7l V型8気筒エンジンをスワップ。スペックを聞いただけだと、有り余るパワー&トルクと悪戦苦闘しながら乗りこなすジャッジ馬を想像しがちだが、ステアリングを握ってみると意外にもジエントルなことに驚かせられる。

実はそれこそ、この2台のZに与えられたキャラクターであり、ロッキーオートの狙いでもある。「あくまでも公共交通で楽しく乗れること」そして「誰もが安心して楽しめること」をコンセプトにしているため、扱いやすさを前面に打ち出しているのだ。そういう意味では、研ぎ澄まされたL28型改3.1lのメカエンジンやS20型のチューニングエンジンを搭載する他のZとは明らかに向性が異なると言つていい。

それゆえ製作当初L28型改3.1lエンジンを搭載していたスーパーchargerエンジニア仕様は、乗りやすさを重視してチューン度の低い3.0l仕様へとベイスのエンジンを変更。さらにインジェクションを含めた制御系にモードックを組み合わせることで、より元べき

■日産フェアレディZ スーパーチャージャー 72年式

- エンジン:L28型改3.0l
- スーパーcharger:イトンM90
- 制御系:MOTEC
- 冷却系:アルミラジエーター
- 排気系:ワンオフマフラー
- シャシー:フレーム補強
- ボディ:ロッキーオートオリジナル・カーボンボンネット、カーボンフロント&リアバンパー、カーボンプロトントスPOILER、カーボンリアバネル、カーボンミラー、リアスポイラー
- インテリア:オートメーター速度計、回転計、MOMOステアリング
- ブレーキ:F:ブレンボキャリパー R:ディスク化+ウッドカーリバー
- ホイール:ボルクレーシングTE37V(ガムターリック/ダイヤモンドカットリム)
- F:10J×16 R:10.5J×16
- タイヤ:TOYO PROXES T1R F:205/50R16 R:205/55ZR16



⑦赤いヘッドカバーにはスーパーchargerの文字がある。右隣に見えるユニットがスーパーcharger本体。クラクク輪からベルト駆動によって作動するルーツタイプを使用。制御はモーテックで行っている。⑧パワーアップに合わせシャシーも抜かりなく強化済みだ。